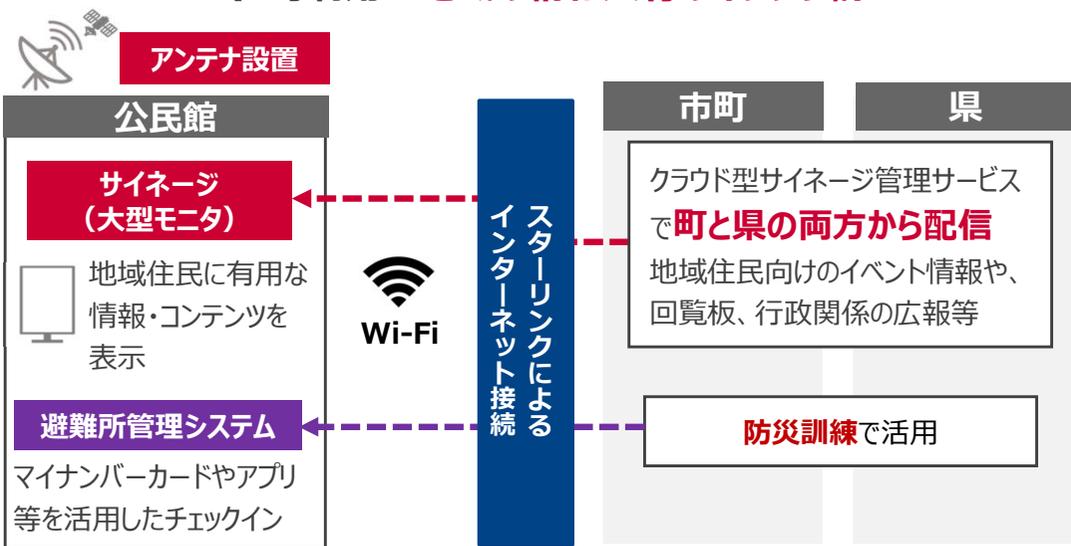


<b>実施体制</b> <small>(下線：代表機関)</small>	奥能登4市町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）、石川県 ※交付申請は各市町		<b>実施地域</b>	石川県奥能登4市町 （輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）	
<b>整備する通信インフラ</b>	➢ 無線LAN ➢ 衛星通信	<b>主な補助対象機器等</b>	➢ 避難所管理システム ➢ クラウド型サイネージシステム ➢ デジタルサイネージ ➢ 非常用電源	<b>目標</b>	➢ 避難者名簿作成・共有の所要時間：45分→20分 ➢ サイネージ情報発信：0回→延べ144回/市町 ➢ 公民館等利用者数：未測定→1,200人/施設 ➢ 要介護・要支援認定者増加率：1.7%（全国Av.） ※現状値：輪島市13.5% 珠洲市11.1% 穴水町 1.9% 能登町 9.4%
<b>事業概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨では通信や電力等のインフラが途絶し、孤立集落が発生。連絡手段がなく、多くの被災者が不安な思いをしたことに加え、情報収集や避難者名簿の作成・共有に多くの手間や時間を要した。また、緊急対応策として避難所等にスターリンクが配備されたが、配備・運用開始まで一定の時間を要し、課題が残った。</li> <li>仮設住宅暮らし等の影響によって、要介護・要支援認定者が増加傾向にある中、地域住民が閉じこもることなく、交流する仕掛けづくりが必要であり、また、高齢者が多い奥能登地域においては、スマートフォンを前提としない多様な情報発信手段の確保が不可欠。</li> <li>かかる背景から、平時は地域の交流の場となり、災害時は避難所となる公民館等の地域拠点をデジタル技術を活用した情報発信・交流・防災の拠点として機能強化する。                         <ol style="list-style-type: none"> <li>①スターリンクや蓄電池の導入による通信環境の強靭化</li> <li>②デジタルサイネージを活用した市町・県連携の情報発信モデルの構築</li> <li>③避難所管理システムの導入及び市町・県の防災システムとの連携</li> </ol> </li> </ul>				

平時利用：地域の情報共有のインフラ網



有事利用：災害に強いレジリエントな情報インフラ網

